



町長の公約と

座右の銘について

榮 和男 議員

福井町長におかれましては、去る4月26日の町長選挙で当選され、今後4年間、町政発展のため、ご尽力されることになりました。ご健勝でよりよい成果を収められますことを祈念します。さて、住民に示された公約についてお尋ねします。また、座右の銘とされているものがあればお教えください。

月26日には「空き家対策特別措置法」が施行されました。自治体としては、危険な建物の撤去がしやすくなりましたが、本町活性化のために空き家を有効利用することも大切です。条例制定後の成果は。

福井町長

空き家条例は、危険空き家の適正管理を所有者等に促すために策定した条例で

すが、現在、この条例を使い正指導や強制撤去した案件はありません。また、地域協力隊も賃貸可能な空き家について調査をしていますが、現時点では十分な成果は上がっていません。空き家の有効利用は、町の再生には欠かすことができないと考えており、地方創生計画の中に位置付け確実に実行できるような考えで参ります。

福井町長

私の座右の銘から申し上げます。宮本武蔵の言った「我れ事において後悔せず」を挙げたいと思います。次に公約について申し上げます。

- 一、牟岐町の創生に取り組むこと。
- 一、今後も防災対策に継続して取り組むこと。
- 一、出羽島の重要伝統的建造物群保存地区の認定の促進
- 一、海部病院の跡地を有効に活用すること。
- 牟岐町創生では、雇用と人口を増加させるため、まずは一次産業の再生を図り、これを二次、三次と発展させていくこと。そのために、一次産業の法人化が必要であると考えています。
- 防災対策では、まずは、避難所・避難路の充実を図るため、今の市宇ヶ丘学園の二次避難所の他に二眼レフ構造で、海部病院移転地の横に避難所を造る予定です。当然、これに併せ備蓄品等も順次、備えていく必要があります。

牟岐町版地域創生計画の重点課題は

横尾 政明 議員

町の課題として、地域防災、地域医療、福祉、地域産業再生、観光振興、人材育成、人口減、過疎化、少子高齢化、晩婚化、空き家等の対策、移住・交流人口の増加やサテライトオフィスの誘致などがあります。今年には地方創生元年になり、総合的な戦略を策定しなければなりません。先日の町長所信表明で、これからは、地域間の知恵比べ、アイデア勝負になるだろうとの考えですが、福井町政2期目の重点政策である、牟岐町版地方創生計画の中で、あえて優先課題として3つ上げるとすれば、どのような課題・施策に取り組まれますか、また、その理由についてもお伺いします。

福井町長

国の考える地方の最重要課題は雇用と人口の増です。

